

ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

10月7日からはじまったイスラエル・ガザ紛争では、約1カ月で死者数が1万人を超える深刻な事態に陥っている。グテーレス国連事務総長が「ガザは子どもたちの墓場になりつつある」と即時停戦を訴えたように、ガザ地区ではとりわけ子どもたちの犠牲が増え続けている。

国連総会は10月27日、ガザ地区の情勢に関して緊急特別会合を開き、敵対行為の停止につながる即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を採択した。イスラエルとハマスの双方をはじめとするすべての当事者が、この決議に従い、国際法を完全順守し、暴力行為を中止すべきである。

衝突による一般市民、特に子どもたちに大きな犠牲が生じていることは悲劇的な状況である。ガザ地区では、電力、食料、医薬品、燃料などが遮断され、深刻な人道的危機に直面している。これ以上の犠牲者を生まないための人道支援が急務である。帯広市議会は、支援を阻む障害である戦闘行為を直ちに中止し、人道的休戦を行うように、すべての当事者に求めるものである。

政府においては、この度の紛争に対して、次に掲げる項目の実現により、一刻も早い事態の解決、改善を図るよう声をあげるよう強く求める。

記

- 1 人道目的の即時停戦及び人質の即時解放
- 2 国際法、国際人権法の順守
- 3 ガザ地区における人道危機を改善するための、水や食料、燃料、医薬品をはじめとする人道支援物資の供給
- 4 戦闘地域の不拡大

以上、決議する。

令和5年12月18日

帯 広 市 議 会